

みんなで作る

ふれあいの大屋根

“ビッグルーフ滝沢” 滝沢市交流拠点複合施設

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。

ROOF NEWS Vol.15

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 28.6.6 滝沢市（地域づくり推進課）

ROOF1 建物完成まであと2か月

「ビッグルーフ滝沢」は、あと2か月で完成します。

建物完成後は、引越や開館に向けた準備が必要な為、プレオープンは12月を予定しています。

施設の管理運営を行う指定管理者（アルビレオたきざわ共同事業体）が決定し、施設のオープンに向けて、準備が進んでいます。

ROOF2 建物の外観

建物を覆っていた足場も徐々に外され、建物の外観が姿を表してきました。雪の残る岩手山と呼応するようなグレーからホワイトへのグラデーションと、「チャグチャグ馬コ」イメージするカラフルなアクセント色により、みんなで作る賑わいや楽しさのイメージを表現しました。

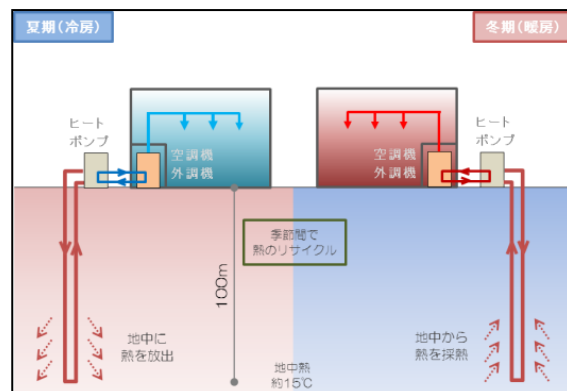
ROOF3 環境に優しい建物

「ビッグルーフ滝沢」は、みなさんに優しい建物であると同時に、地球環境にも優しい建物として造られてきています。ホームページ等でもご紹介していますが、自然エネルギーを利用し、電力負担やエネルギー消費を抑えた色々な工夫が行われています。その代表的なものとして、今回皆さんにご紹介するのは、地中熱利用設備と太陽光発電の導入です。

地中熱利用設備は、地中約100mの深さに管(地中熱交換器)を入れ、年間を通じ一定温度(約15℃~16℃)の地中の熱を空調の熱源として利用することで、自然エネルギーを活用した省エネルギー化を図るというものです。



現在の建物外観の様子



地中熱利用設備イメージ図



地中熱設備工事の様子

太陽光発電システムは、機械棟屋根に 10kW の太陽光パネルを設置し、機械棟内に 16.9kWh の蓄電池を設置しています。ここで発電された電気は、蓄電池に貯められ、施設内の電気として利用されます。

非常時においては、発電及び蓄電池により、避難された方々の携帯電話の充電や災害情報版（テレビ視聴等）として利用されます。

ROOF4 これからの工事スケジュール

現在は、内装工事、電気・機械設備工事、植栽や舗装といった外構の工事が行われ、様々な職種のたくさんの職人さんが工事完成に向け、急ピッチで仕事を進めています。

工事も完成に向け、いよいよ佳境を迎えてきました。

ROOF5 まとめ

完成まであと僅か！道路からもその様子を感じられてきていると思います。これからも、皆様へ ROOF NEWS をお届けしていきますので、引き続きよろしくお願い致します。



機械設備別棟上部に設置された太陽光パネルの様子



現在の敷地の様子